

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東 大

上場会社名 共英製鋼株式会社

コード番号 5440 URL <http://www.kyoeisteel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森田 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 本社経理部長

(氏名) 北田 正宏

TEL 06-6346-5221

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	105,491	8.2	3,279	30.6	3,502	19.5	1,867	24.2
24年3月期第3四半期	97,459	13.4	2,511	—	2,929	—	1,504	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,864百万円 (23.1%) 24年3月期第3四半期 1,514百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	42.93	—
24年3月期第3四半期	34.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	162,137	123,626	74.8
24年3月期	164,486	122,725	73.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 121,252百万円 24年3月期 120,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	15.00	20.00
25年3月期	—	5.00	—		
25年3月期(予想)				15.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	136,000	4.1	4,700	12.8	5,000	6.8	2,400	41.9	55.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	44,898,730 株	24年3月期	44,898,730 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,439,242 株	24年3月期	1,394,242 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	43,488,943 株	24年3月期3Q	43,504,534 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、期間終盤には円高の是正と経済対策の効果を背景に回復が期待される状況となりましたが、期間を通しては、円高や世界経済の減速などの影響により停滞が続きました。

当社グループの主要需要先である建設用鋼材市場では、人員不足による建設工事の遅れや第2四半期までのスクラップ価格下落を受けた鋼材購入の延期を受けて、製品需要は低調に推移しました。期間後半には需要拡大の動きが出てきましたが、まだ力強さには欠ける状況です。

一方原材料である鉄スクラップ価格は、第2四半期までは下落傾向で推移したものの、秋以降、割安となった日本産スクラップへの海外からの需要増を契機として上昇傾向に転じています。

このような状況の下、当社グループは需要に見合った生産・販売、製品価格の維持、製造コスト削減等により利益の確保に努めました。

これらの結果当社グループの業績は、連結売上高は前年同期対比8,032百万円（8.2%）増収の105,491百万円、連結営業利益は同768百万円（30.6%）増益の3,279百万円、連結経常利益は同572百万円（19.5%）増益の3,502百万円、四半期純利益は同363百万円（24.2%）増益の1,867百万円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間の経営成績には、前年度まで持分法適用関連会社であった在ベトナム関係会社の連結子会社化に伴う影響が含まれております。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 鉄鋼事業

当事業部門については、製品出荷量（国内工場出荷分）は前年同期対比約5万1千トン増の119万トンとなりました。販売価格は前年同期対比トン当たり7.3千円下落した一方、鉄スクラップ価格は同トン当たり7.1千円の下落となったため、製品と鉄スクラップの売買価格差は前年同期に比ベトン当たり0.2千円縮小しましたが、出荷量増および在ベトナム関係会社の連結子会社化により、売上高は前年同期対比7,741百万円（8.4%）増収の100,347百万円、営業利益は同860百万円（43.8%）増益の2,822百万円となりました。

② 環境リサイクル事業

当事業部門については、産業廃棄物受入量の増加などにより、売上高は前年同期対比280百万円（6.1%）増収の4,864百万円、営業利益は同58百万円（6.1%）増益の1,010百万円となりました。

③ その他の事業

当事業部門については、子会社を通じて土木資材の販売及び保険代理店業等を行っており、売上高は前年同期対比11百万円（4.2%）増収の280百万円となりましたが、営業利益は6百万円（16.0%）減益の32百万円に留まりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,662百万円（3.0%）減少し、85,522百万円となりました。これは、現金及び預金が1,016百万円、有価証券が1,400百万円増加し、受取手形及び売掛金が3,525百万円、商品及び製品が774百万円、原材料及び貯蔵品が649百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて314百万円（0.4%）増加し、76,616百万円となりました。これは、有形固定資産が350百万円減少し、投資有価証券が908百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2,348百万円（1.4%）減少し、162,137百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,760百万円（8.6%）減少し、29,162百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が4,119百万円、未払法人税等が1,215百万円減少し、短期借入金が2,509百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて490百万円（5.0%）減少し、9,349百万円となりました。これは、長期借入金が108百万円、繰延税金負債が108百万円、その他の固定負債が219百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,250百万円（7.8%）減少し、38,511百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて902百万円（0.7%）増加し、123,626百万円となりました。これは、四半期純利益1,867百万円、剰余金の配当870百万円、その他有価証券評価差額金の減少67百万円等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の73.2%から、74.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月31日の「平成25年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,398	16,415
受取手形及び売掛金	39,081	35,556
有価証券	10,400	11,800
商品及び製品	13,040	12,266
原材料及び貯蔵品	8,025	7,376
その他	2,292	2,160
貸倒引当金	△53	△51
流動資産合計	88,184	85,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,807	13,440
機械装置及び運搬具(純額)	18,954	18,886
土地	26,737	26,745
その他(純額)	1,000	1,076
有形固定資産合計	60,498	60,147
無形固定資産	1,352	1,284
投資その他の資産		
投資有価証券	11,685	12,592
その他	2,849	2,681
貸倒引当金	△81	△89
投資その他の資産合計	14,453	15,185
固定資産合計	76,302	76,616
資産合計	164,486	162,137

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,875	12,756
短期借入金	5,549	8,058
1年内返済予定の長期借入金	139	140
未払法人税等	1,578	363
賞与引当金	597	584
役員賞与引当金	35	43
その他	7,150	7,219
流動負債合計	31,922	29,162
固定負債		
長期借入金	5,168	5,060
繰延税金負債	372	263
再評価に係る繰延税金負債	3,492	3,492
退職給付引当金	229	173
役員退職慰労引当金	14	16
その他	564	345
固定負債合計	9,839	9,349
負債合計	41,761	38,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	21,493	21,493
利益剰余金	76,101	77,098
自己株式	△1,635	△1,699
株主資本合計	114,475	115,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	965	898
繰延ヘッジ損益	1	45
土地再評価差額金	5,330	5,330
為替換算調整勘定	△426	△428
その他の包括利益累計額合計	5,869	5,844
少数株主持分	2,381	2,375
純資産合計	122,725	123,626
負債純資産合計	164,486	162,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	97,459	105,491
売上原価	88,577	95,542
売上総利益	8,882	9,949
販売費及び一般管理費	6,370	6,669
営業利益	2,511	3,279
営業外収益		
受取利息	27	219
受取配当金	122	116
持分法による投資利益	258	34
その他	180	254
営業外収益合計	587	623
営業外費用		
支払利息	83	349
売上割引	37	29
コミットメントフィー	4	—
その他	45	23
営業外費用合計	169	400
経常利益	2,929	3,502
特別利益		
固定資産除売却益	36	16
特別利益合計	36	16
特別損失		
固定資産除売却損	277	226
投資有価証券売却損	—	185
たな卸資産廃棄損	88	26
その他	8	29
特別損失合計	374	466
税金等調整前四半期純利益	2,591	3,052
法人税等	1,038	1,161
少数株主損益調整前四半期純利益	1,553	1,891
少数株主利益	49	24
四半期純利益	1,504	1,867

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,553	1,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△395	△67
繰延ヘッジ損益	△116	44
土地再評価差額金	524	—
為替換算調整勘定	—	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△52	0
その他の包括利益合計	△39	△27
四半期包括利益	1,514	1,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,465	1,842
少数株主に係る四半期包括利益	49	22

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	92,607	4,584	269	97,459	—	97,459
セグメント間の内部売上高 又は振替高	152	1,138	—	1,290	△1,290	—
計	92,759	5,722	269	98,749	△1,290	97,459
セグメント利益	1,962	952	38	2,952	△441	2,511

(注) 1 「セグメント利益」の調整額△441百万円には、セグメント間取引消去14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△455百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	100,347	4,864	280	105,491	—	105,491
セグメント間の内部売上高 又は振替高	126	1,227	—	1,352	△1,352	—
計	100,473	6,090	280	106,843	△1,352	105,491
セグメント利益	2,822	1,010	32	3,864	△585	3,279

(注) 1 「セグメント利益」の調整額△585百万円には、セグメント間取引消去15百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△600百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。